

伊藤病院だより
AUTUMN

Voice

2025年9月1日発行 第91号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



代々木公園 BE STAGE

医療の国際化に向けて

◆第17回 国際甲状腺学会に参加して

～世界に伝える日本の知見～

伊藤病院 内科医長 吉原愛

6月18日(水)～22日(日)、ブラジル・リオデジャネイロで「国際甲状腺学会」が開催され、当院からは渡邊奈津子内科部長と私が参加してまいりました。

この学会は5年に一度、世界中の甲状腺専門医が集まる大規模な国際会議です。アジア、アメリカ、ヨーロッパ、南米の各地域を代表する甲状腺学会が合同で開催するため、非常に活気があり、最先端の研究や臨床経験が交わされる貴重な機会となっています。今回は、コロナ禍を経て実に10年ぶりの対面開催ということもあり、熱気に満ちていました。

渡邊内科部長は「甲状腺ホルモン不応症の患者にみられる心疾患」について発表し、またセッションの座長も務めました。私は「妊娠中のパセドウ病に対する無機ヨウ素の治療」について講演の機会をいただき、日本で行われている無機ヨウ素による治療について紹介しました。これは日本ならではの治療法で、抗甲状腺薬にはない利点があり、海外の先生方からも多くの質問をいただきました。

日本では昆布や海藻を日常的に食べる文化があり、ヨウ素の摂取は比較的容易ですが、世界にはまだヨウ素不足に悩む地域も少なくありません。ブラジルでは、すべての食塩にヨウ素が添加されているようで、地域による栄養環境の違いをあらためて実感しました。

また今回は、クイズ形式で参加者にアンケートを取りながら進めるセッションや、世界各地の専門医が一つの症例について意見を交わすなど、新しい試みにも富んでおり、学びの多い時間となりました。

今後も、こうした国際的な経験を日々の診療に活かし、患者様一人ひとりにより良い医療を届けられるよう努めてまいります。



◆北川部長が中国医療保健国際交流促進会で特別講演しました

5月16～18日に、中国の福建省アモイ市で行われた中国医療保健国際交流促進会 甲状腺疾病学分会2025年年会に当院北川診療技術部部長が招かれ、特別講演をしました。この会議は中国各地の甲状腺外科診療に携わっている先生方が一同に参加し、甲状腺がん治療の現状を議論する場となっています。

北川部長は日本での甲状腺がん治療の基本となる「甲状腺腫瘍診療ガイドライン2024」の紹介、甲状腺微小がんの経過観察、術中神経モニタリング、日本での甲状腺がんに対する分子標的薬治療の現状などを解説しました。

会議は英語と中国語で行われましたが、学会から中国語での発表依頼があったため、事前に当院国際医療室で中国語に翻訳したスライドを用意し、国際医療室 鄭室長を介しての発表となりました。発表後は、日本と中国の甲状腺がんの治療の現状について、多くのことが討論されました。



北京同仁病院頭頸部外科 房居高教授と北川部長

学会活動

ピックアップ 第98回日本内分泌学会学術総会が開催されました

伊藤病院 内科 小湫正和

6月5日(木)から7日(土)にかけて千葉市の幕張メッセで第98回日本内分泌学会学術総会が開催されました。

この学会では、当院が専門とする甲状腺の病気だけでなく、糖尿病や下垂体、副腎(ふくじん)の病気といった主な内分泌疾患、さらには骨やホルモン、神経とホルモンの関係など、非常に幅広い分野の発表や最新情報の共有が行われました。国内外の著名な研究者による特別講演や、若手研究者による発表も多数あり、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。私は、「Marine-Lenhart症候群」という珍しい甲状腺の病気に対するアイソトープ治療についての発表を行いました。甲状腺の診療をリードされている先生方から貴重なご意見をたくさんいただき、今後の研究に役立つ非常に有意義な時間となりました。

会期中、特に注目を集めていたのが主にバセドウ病が原因で目の症状が出る「甲状腺眼症」の新しい治療薬「テプロツムマブ(テPPERザ®)」です。これまで甲状腺眼症に特化した薬剤がなく、本邦においても保険収載されたことから、大きな話題となっていました。会場には、甲状腺眼症の症状のひとつである「物が二重に見える(複視)」という状態を体験

できるVRコーナーも設けられており、甲状腺専門医だけでなく様々な分野の医師からも甲状腺眼症への注目が集まっておりました。

今回の学会で学んだ新しい知識や技術を日々の診療に生かせるよう、これからも一層努めてまいります。

発表

小湫正和	Marine-Lenhart症候群に対する放射性ヨウ素内用療法と甲状腺機能への影響
齋藤慶幸	東京都がん登録データを用いた甲状腺原発リンパ腫の病態と治療成績の解析
鈴木菜美	バセドウ病再燃/再発と抗甲状腺薬休業時のTRAb値との関連
廣瀬 玲 松本雅子	阻害型抗TSH受容体抗体陽性患者の予後調査 健康成人における血清亜鉛値と甲状腺機能の検討
岩久建志	多発性内分泌腫瘍症のカスケード・スクリーニングについて

特別講演

渡邊奈津子	クリニカルアワー 6 甲状腺眼症の治療の最前線「甲状腺眼症の診断」
吉原 愛	シンポジウム12 妊娠に関連した甲状腺の話題「産後の甲状腺疾患のクリニカルパルとビットホール」
大江秀美	クリニカルアワー 3 甲状腺疾患における最近の話題「バセドウ病治療における無機ヨウ素の役割」

座長・司会

吉原 愛	口演40「English Session5 Thyroid」
岡村律子	シンポジウム15「難治性甲状腺がんに対する治療戦略の現状と展望」

セミナー等

吉村 弘	座長 ランチョンセミナー 15「バセドウ病の診断と治療の最前線」
------	----------------------------------



学会活動

ピックアップ 第37回日本内分泌外科学会総会に参加しました

伊藤病院 外科部長 松津賢一

5月22日から24日にかけて、第37回日本内分泌外科学会総会が開催されました。この学会は、甲状腺・副甲状腺・副腎の診療に携わる医師や薬剤師、臨床検査技師などが全国から集まり、診療や研究の最新情報を共有する場です。

今回は、開催地・鎌倉にちなみ「内分泌外科の真髄を求めて。いざ！」というテーマのもと、各分野での取り組みや成果が発表され、活発な議論が交わされました。当院からも甲状腺診療の分野で多数の発表を行い、多くの先生方から高い評価をいただきました(詳細は別表をご覧ください)。さらに嬉しいことに、これまでの研究や診療成績が評価され、当院外科の齋藤慶幸医師が、例年1名のみ選出される「学会賞」を受賞しました。受賞者には特別講演の機会が与えられ、齋藤医師は外科医としての歩みや、今後取り組みたい課題について熱意をもって発表しました。

学会期間中は外来休診などで患者様にご不便をおかけすることもございますが、私たちは日々の診療ガイドラインを守るだけでなく、より質の高い医療を提供するため、こうした学会での学びや交流を大切にしています。今後も研鑽を続けてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



発表

松津賢一	甲状腺乳頭癌初回手術における予防的中央区域郭清は、長期的に見てもoncological benefitがないのか？
鈴木章史	進行甲状腺癌に対するDabrafenib/Trametinib治療23例の検討
赤石純子	当院における甲状腺濾胞癌・低分化癌に対する分子標的薬の治療経験
川井田みほ	デジタル病理画像を用いた副甲状腺腺腫の細胞解析
齋藤慶幸	全国がん登録情報をもちいた甲状腺原発悪性リンパ腫の疫学調査と根治手術の治療成績
ヘイムス規予美	乳頭癌を背景とした高異型度分化癌2症例
正木千恵	甲状腺癌における遺伝子検査—解析成功のための核酸品質の検討
塩谷純子	当院における甲状腺癌に対するダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法における発熱マネジメントの現状

特別講演

友田智哲	特別企画1 学会賞受賞者からのメッセージ「Academic surgeonを目指して」
齋藤慶幸	学会賞受賞講演「内分泌外科の道を歩み始めて」
	パネルディスカッション2 甲状腺内視鏡手術の未来のためのエビデンス創出「東京都における内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術の実態調査」
正木千恵	NCD特別セミナー National Clinical Databaseの現状と活用「内分泌外科におけるNCDデータ活用：他のビックデータと比較して何ができるか」
	ワークショップ1 甲状腺がんに対するゲノム医療：現状の課題とエビデンス創出 遺伝子検査「甲状腺専門病院における遺伝子検査(コンパニオン診断)の実際」
ヘイムス規予美	要演題8 内分泌外科各領域の積極的経過観察における新しい知見「当院における腫瘍径10-20mmの乳頭癌に対する非手術経過観察～後ろ向き検討による予後の実状」
ヘイムス規予美	International Session1 Case Spotlight : Tumor Board Perspectives on Intriguing Cases「When the Colony Becomes an Empire」

学会活動

ピックアップ

第37回日本内分泌外科学会総会

セミナー等

松津賢一	ランチョンセミナー4「パセドウ病手術～進歩の歴史を辿る～」
渡邊奈津子	イブニングセミナー3 甲状腺眼症の新たな治療戦略「甲状腺眼症の診療～早期診断と診療連携の重要性～」
友田智哲	特別共催セミナー「術中神経モニタリングの新展開」
正木千恵	ランチョンセミナー7 日米の甲状腺癌治療の診療実態～多職種連携で安全・安心を実現する～「多職種連携で安全安心に薬物治療を届ける～甲状腺専門病院の取り組み～」
	イブニングセミナー1 希少フラクションの可能性を考慮したがんゲノム医療「甲状腺癌における希少フラクション症例の取り扱い～がん遺伝子診断から治療まで～」
杉野公則	座長 ランチョンセミナー5「発売10年目を迎えたレンバチニブの過去・現在・未来」
北川 亘	座長 ランチョンセミナー8「進化する手術技術：甲状腺手術の最前線」

座長

伊藤公一	特別講演3 外科医の幸福と医療政策「医療の現状・課題を踏まえたこれからの外科診療の展望」
松津賢一	教育セミナー1「副甲状腺機能亢進症ガイドラインの解説」
	エキスパート・パネルメンバー International Session1「Case Spotlight: Tumor Board Perspectives on Intriguing Cases」
北川 亘	一般演題 口演19「興味深い症例(2)」
鈴木章史	エキスパート・パネルメンバー 特別企画2 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム(ATCCJ)「特別報告」
友田智哲	Meet The Professor1「2025 update on medullary thyroid cancer」
	一般演題 口演2「甲状腺手術のリスクマネジメント」
赤石純子	一般演題 口演4「甲状腺臨床」
岡村律子	一般演題 口演6「甲状腺・副甲状腺内視鏡手術」
齋藤慶幸	一般演題 注目演題4「内分泌外科の真髄を求めて(4)甲状腺2」
正木千恵	ワークショップ1 甲状腺がんに対するゲノム医療：現状の課題とエビデンス創出「遺伝子検査」

伊藤院長が分子標的薬セミナーで座長を務めました

甲状腺がんに対する分子標的治療薬レンバチニブの本邦導入から10年が経過したことを機に、伊藤院長が座長を務めるWEBセミナーが開催されました。

多くの甲状腺がんは手術で切除することができますが、腫瘍が周囲臓器に及んでおり手術では切除できない場合や、肺や骨などの他臓器に転移をきたしている場合はアイソトープ治療を行います。そしてアイソトープ治療で効果が得られない症例に対する治療薬として新たに登場したのが分子標的薬です。分子標的薬はいわゆる抗がん剤とは異なり、がんの発生・進行の分子メカニズムに作用する有効な治療薬ですが、特有の副作用があることから、いかに副作用を克服して治療を継続していけるかが重要になります。当院でもいち早くレンバチニブを導入し、医師を中心に看護師、薬剤師など多職種で連携して副作用を克服しながら治療を続ける工夫をしております。

今回のセミナーには900名を超える参加者があり、イーザイ株式会社からは分子標的薬開発の背景に関する報告が、当院と連携している国立がん研究センター東病院 田原信先生と静岡県立静岡がんセンター 横田知哉先生からはレンバチニブの治療実績の紹介や副作用コントロールの工夫などの講演がありました。終了後には全国から多数の質問があり、レンバチニブに対する関心の強さがうかがわれました。



右から 田原先生、伊藤院長、横田先生、イーザイ 鶴岡様

当院はISO 15189の認定を取得しています

伊藤病院 臨床検査室室長 田中克昌

臨床検査室は、2013年11月に全国で77施設目としてISO 15189の認定を取得しています。国際規格であるISOは、みなさんもよく見聞きすることがあるISO 9001やISO 14001がありますが、他にも数多くの国際規格が存在します。ISO 15189:2022は「臨床検査室—品質と能力に関する要求事項」で、臨床検査室に特化した規格です。認定を受けた施設の検査結果は信頼性が担保され、海外においても通用するものになります。現在、日本では314施設が認定を受けています。

認定を維持するためには定期的な更新審査の受審が必要で、今年5月に2日間にわたって審査を受けました。審査では、品質マネジメントシステムが効果的に運用されているか、検査技術や知識が備わっているかを日本適合性認定協会から派遣された審査員が記録書類や実際の現場を確認して審査します。その結果、当院の臨床検査室は「臨床検査室の質を管理するマネジメントシステム」と「検査技術や能力」が国際的な基準を満たしていることが認められました。

私たち臨床検査室は今後もISO 15189の規格を遵守し認定を維持していきます。日々の業務の中で、マニュアルの見直しや内部監査を通して自己チェックを行い、これからも臨床

検査室職員全員で正確な検査結果の提供ができるように努めてまいります。



外部監査に加え、臨床検査室職員による定期的な内部監査を実施しています



採血の検査結果は、すべて目視で確認してから電子カルテに送信しています

「ヒューストン・バレエ」来日公演に協賛しました

アメリカ5大バレエのひとつ「ヒューストン・バレエ」の来日公演が7月に東京と名古屋で開催されました。2022年に初来日を果たしてから3年ぶりとなる本公演では、世界的振付家の芸術監督スタントン・ウェルチによる「ジゼル」、さらに本公演を記念した特別プログラムであるウェルチ傑作集「オープニング・ガラ」を上演。日本人プリンシパル 加治屋百合子さんをはじめとする実力派ソリストたちの豊かな表現力とテクニック、大胆な演出で訪れた観客を魅了しました。

当院および診療関連施設の名古屋甲状腺診療所は、文化活動の支援を目的に本公演に協賛しました。



細胞診検査で「分かること、分からないこと」

伊藤病院 外科部長 松津賢一



細胞診検査の目的

甲状腺に結節(しこり)ができた場合、それが「良性」か「悪性(がん)」かを見分けることが大切です。穿刺吸引細胞診検査(以下、細胞診検査)は、甲状腺の結節に細い針を刺してごく一部の細胞を採取し、顕微鏡で調べることで良悪性の判別を試みる検査です。ただし、この検査には「分かること」と「分からないこと」があります。

1. 細胞診検査だけでは診断は確定できない

細胞診検査で分かるのは、採取された細胞の性質だけです。結節全体の細胞をすべて調べるには、手術で甲状腺を切除し「組織検査」を行う必要があります。しかし、甲状腺はホルモンを作る重要な臓器なので、不要な手術は避けなければなりません。そこで外来で行うことができる細胞診検査で得られた情報をもとに、結節の性質を推測します。

2. 乳頭がんは高い精度で診断できる

「それでは細胞診検査は意味がないのか?」という、決してそうではありません。

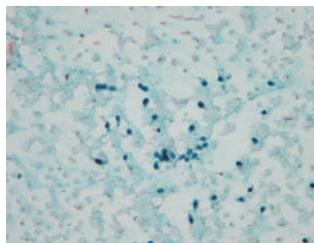
甲状腺がんの約90%を占める乳頭がんは、細胞に特徴的な核の所見が現れることが多く、細胞診検査で高い確率で診断可能です。当院のデータでは、細胞診検査で乳頭がんを診断された方の99.3%が、組織検査でも乳頭がんを診断されています。ただし、100%確実というわけではないため、最終的な診断はやはり組織検査で行います。

3. 濾胞がんは細胞診では診断できない

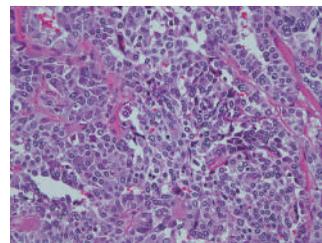
甲状腺がんの約5%を占める濾胞がんは、良性の濾胞腺腫と細胞は同じように見えるため、細胞診検査では区別できません。また、超音波検査でも見た目がほとんど同じことが多く、最終的な判断には手術と組織検査が必要です。

4. 細胞診は最も有効な診断法のひとつ

左記のとおり細胞診検査には限界がありますが、それでもCT・MRI・PET-CTなどの画像検査よりも高い診断率を持っています。この検査の長所と限界を正しく理解したうえで検査を受けていただければ幸いです。



細胞診検査



組織検査

学会による臨時休診等のご案内

2025年の臨時休診等

11月27日(木)	外来休診
28日(金)	
29日(土)	多くの医師の外来が変更

2026年の臨時休診等

6月2日(火)	多くの医師の外来が変更
3日(水)	
4日(木)	外来休診
5日(金)	
6日(土)	多くの医師の外来が変更

2025年11月に日本甲状腺学会、2026年6月に日本内分泌学会および日本内分泌外科学会が開催されます。会期中は、多数の医師が学会に参加するため、臨時休診や多くの医師の外来が変更となります。

また、会期の前後の週は混雑が予想されます。特に臨時休診後は混雑することが多いため、早めのご来院をご検討くださいますよう、お願いいたします。

患者様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

表参道寄り道スポット

GARIGUETTE(ガリゲット)

表 参道にある「ガリゲット」は、焼きたて&出来立てにこだわるミルフィーユ専門店です。店名の「ガリゲット」は、フランス語で「小さな幸せ」を意味していて、その名前通り、一口食べるごとに心が温かくなるような幸せな味わいを提供しています。



ミルフィーユを独自の製法でプレスした「ミルプレッセ」は、パイ生地を高温・短時間で焼き上げることで、フレッシュな香ばしさと食感を生み出します。クリームをサンドしたデザートメニューだけでなくお食事メニューもあるため、甘いものが苦手な方にもおすすめです。

定番メニューの「ナポレオン」は、パリパリ食感のパイ生地の中に滑らかなカスタードクリームといちごがたっぷり詰まっています。食べるたびにパイ生地の香ばしさとクリームの濃厚な味わいが口の中に広がり、まさに至福のひとつを感じさせてくれます。カスタードクリームは卵の風味が豊かで、甘さのバランスが絶妙です。

お食事メニューの「ジャンボン&フロマージュ」は、ジューシーなハムと濃厚なチーズが絶妙に絡み合い、シンプルながらも奥深い美味しさ。デザートメニューとはまた異なるサクサク食感のパイ生地は、軽やかでありながらも中身のハムとチーズをしっかり包み込み、噛むごとに素材の風味が広がります。

見た目にも美しく、まるでアートのようなデザート。おしゃれな表参道の街並みを歩きながら、またはカフェでのひとときに、ぜひ味わっ

てほしい逸品です。季節ごとの期間限定メニューもあり、訪れるたびに新しい発見があるのも楽しみのひとつ。店内は、シンプルでスタイリッシュなデザインで、ゆったり過ごすのにぴったりの空間です。診察の合間にぜひお立ち寄りください。

ドリンクorスープとセットで合計金額より100円引き



ナポレオン
(特製カスタードクリーム&いちご)
1,400円



ジャンボン&フロマージュ
(ハム&チーズ)
1,200円

※価格はすべて税込表示



お店の方から一言

ミルフィーユ専門店GARIGUETTEでは、その場で一つひとつ丁寧に作り上げています。北海道発酵バターで仕上げたサクサクのパイ生地と毎朝炊き上げるカスタードクリームを組み合わせた贅沢な味わいをぜひご堪能ください。



店名 GARIGUETTE(ガリゲット)
住所 港区北青山3-7-2 FPG links OMOTESANDO II 1F
電話番号 03-6805-0430
営業時間 11:00 ~ 19:00
定休日 不定休
アクセス 東京メトロ「表参道」駅B2出口より徒歩2分 当院より徒歩3分
Wi-Fi あり
携帯充電 不可
Instagram @mille_feuille.gariguette
喫煙 全席禁煙
席数 24席

基本
DATA



表参道ランチ&グルメ情報

BASO(ばーそー)

 表参道沿いにあるキデイランド裏の路地を進んでいくと、おしゃれな外観のお蕎麦屋さん「BASO」があります。店内は和の落ち着いた雰囲気、1階が厨房、2階が食事スペースです。



BASOでは「毎日食べても飽きない美味しいSOBAとつゆ」をコンセプトに、太めの蕎麦をつけスタイルで提供しています。麺は、野川麺業のもっちりとした食感でコシのある二八蕎麦を使用。こだわりのつけ汁は、瀬戸内産鯖節・鰯煮干し・鰹節・宗田鰹節・ムロアジ節の5種類の煮干しと日本橋の出汁、本醸造濃口醤油をブレンド。さらに煮干し鶏油で仕上げているのが特徴です。大人気のメニュー「塩鴨のつけSOBA」は、程よい塩味の効いたしっとり柔らかいジューシーな鴨肉と蕎麦麺が石皿に綺麗に盛られていて、こだわりのつけ汁との相性が抜群です。おすすめは、サクッとした衣をまとった半熟卵に甘タレをかけた卵天ぷら飯をご一緒に。「角煮つけSOBA」は、しっかり味が染みた肉厚の角煮がのって、薬味の柚子の香りが口の中で広がり、さっぱりとした味わいです。卓上にある刻み海苔、ニラ胡麻、天かす、九条ねぎ、わかめを使って、味変して楽しむのも◎ 続いてご紹介するのが「豚角煮SOBA」。見た目からインパクトは抜群で、一杯でかなり満足度の高いメニューです。麺の上に大きなチャーシューとたっぷりのもやしとニンニクがのった、まるでラーメンのような新感覚の“二郎系蕎麦”。濃厚なスープに絡んでお蕎麦も進みます。



TVやSNSでも話題で、大人気の進化系のお蕎麦を楽しめる「BASO」。ぜひ、検査や診察の合間、診察後に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



※価格はすべて税込表示です

塩鴨のつけSOBA 1,290円
(+卵天ぷら飯 350円)



豚角煮SOBA 1,380円



角煮つけSOBA 1,250円

お店の方から一言
人気ラーメン店「駄目な隣人」プロデュースのもと2023年にオープンしました。日本が誇る美味しい健康食である蕎麦を独自のスタイルでお出ししています。時間帯によってはお並びいただく場合もありますのでご了承ください。



店名	BASO(ばーそー)	基本 DATA
住所	渋谷区神宮前6-11-7	
電話番号	03-6805-0316	
営業時間	平日 11:30~21:00(L.O.20:30) 土日 11:00~21:00(L.O.20:30)	
定休日	なし	
アクセス	JR山手線「原宿」駅東口より徒歩9分 東京メトロ「明治神宮前」駅エレベーター専用口より徒歩3分 東京メトロ「表参道」駅A1出口より徒歩10分	
Wi-Fi	なし	
携帯充電	不可	
Instagram	@baso_omotesando	
平均予算	1,000~2,000円	
喫煙	禁煙	
席数	16席	





みなさまどんな味付けのお食事が好みですか？今回は減塩についてお話ししたいと思います。

塩分は生きていくために必須の栄養素ですが、摂りすぎると高血圧症や腎臓病など、身体に悪影響を及ぼしてしまうので注意が必要です。もともとは海のなかで誕生した生命が、陸上でも生きていけるように進化して順応を遂げた結果、身体のかなかに塩分を保つことができるようになりましたが、その調節する力を超えて塩分を摂りすぎると、病気が引き起こされてしまいます。

*理想的な塩分量って？

WHO(世界保健機関)では、塩分摂取の目標量を一律一日5gまでとしています。これに対して日本人の平均食塩摂取量は一日あたり約10gと言われており、約2倍摂取しているのが現状です。他国と平均しても塩分摂取量が多く、減塩はすべての日本人にとって課題となります。ですが、和食文化のある日本人にとって一日5g未満にするというのは、かなり過酷な塩分制限になってしまいます。そのため、日本では高血圧のない方では男性7.5g未満、女性6.5g未満、高血圧のある方では6g未満と少し目標がゆるくなっています。

*実は塩分が多い調味料！

日本人が1日で摂取する塩分のうち、約7割は調味料から、とされています。主な調味料の大きじ一杯あたりの食塩量をのせていますが、実は濃口醤油よりも薄口醤油のほうが塩分量は多いのです。またドレッシングにしても、カロリー控えめを謳っているノンオイルドレッシングはマヨネーズの3倍近い塩分が含まれています。調味料を買うときには、成分表示をみて塩分はどれくらい入っているのかな？と気にしてみてください。



*減塩は小さなことからコツコツと

では日常生活ではどんなことに気を付けていくのがよいでしょうか。塩分を摂りすぎない方法だけでなく、余分な塩分を逃がす方法も是非知っておいてください。

★選ぶときのコツ

- ・加工食品(ハム、ウインナーなど)は避けましょう
- ・調味料は減塩のものを選びましょう
- ・ごはんかパンを選べる時には、「ごはん」を選びましょう

★作るときのコツ

- ・塩分以外の味付けもしてみましょう ※お酢やレモンなどの酸味、ねぎやにんにくなどの薬味の利用など
- ・すべて味を薄く作ると物足りないのので、一品はしっかりと味付けを。ほかで減塩をしましょう

★食するときのコツ

- ・汁、スープは残しましょう
- ・醤油やソースは「かける」ではなく、「つけて食べる」
- ・漬物はできるだけ避けましょう
- ・カリウムや食物繊維を摂りましょう ※塩分の排泄を促してくれます。バナナやアボカド、きゅうりやトマトなど夏野菜に豊富に含まれています

*適塩でおいしく健康に

塩分を摂りすぎないように、とお話ししてきましたが、最初に書いた通り塩分は生きるための必須の栄養素です。厳しい減塩で塩分が不足してしまうと、身体のかなかの水分やミネラルのバランスが崩れて命に関わる場合もあります。一人ひとりに適切な塩分を摂取して、おいしい食事を摂ることを心がけていきましょう。



名古屋甲状腺診療所における職場環境配慮義務への取り組み

名古屋甲状腺診療所 看護師主任 中村めぐみ

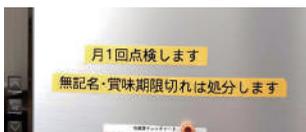
名古屋甲状腺診療所では、労働安全衛生法に基づき、職員の安全と健康を守るための職場環境配慮義務の一環として、月に1回の職場巡視を実施しています。

この巡視では、以下の項目を中心に確認を行っています。

- ・ 文書・備品等の整理整頓
- ・ 机や椅子のぐらつき、破損等の有無や棚の固定
- ・ 電気配線、コンセント等の安全管理
- ・ 室温・湿度の適正な管理
- ・ 職員の共同スペースの衛生管理

巡視結果は記録し、産業医へ報告・確認を行うことで、必要に応じた助言や改善指導を受けています。こうした取り組みを継続することで、職場環境の整備と安全性の向上を図っています。また、これらの取り組みを通じて、職員の意識にも前向きな変化が見られるようになりました。具体的には、以下のような改善が自主的に行われています。

- ・ 冷蔵庫内の私物を整理整頓する習慣が定着し、衛生管理が向上
- ・ 室温計を設置し、温湿度管理の可視化
- ・ 収納棚を購入・設置し、整理整頓された環境を実現
- ・ 電源コード類はマジックテープでまとめて整理整頓し、転倒や引っ掛かりを防止
- ・ パソコンの転倒防止対策として、ジェルマットで固定する措置を講じ、安全性を強化



今後も、職員が安心して働ける職場環境の整備と、意識向上につながる継続的な取り組みを進めてまいります。

名古屋甲状腺診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308
HP：https://www.kojin-kai.jp/nagoya/



東日本Expert Meetingに参加いたしました

さっぽろ甲状腺診療所 院長 岩久建志

5月11日に東京で行われたアムジェン株式会社主催の東日本Expert Meetingに参加いたしました。この会は北関東・北陸以北の甲状腺眼症診療に携わっている内科・眼科の先生方を対象に開催され、新潟大学医歯学総合病院 眼科講師の植木智志先生座長のもと、茨城県の小沢眼科内科病院 副院長 石川恵里先生とともに講演を行いました。まず私が“甲状腺眼症診療における内科医の役割”と題して活動性甲状腺眼症の早期発見・早期治療を目的とした内科医と眼科医の緊密な診療連携の必要性についてお話しし、続いて石川先生が登壇され“テッペーザが切り開く甲状腺眼症治療の新時代”と題して、新規薬剤であるテッペーザの使用成績についてお話しされました。石川先生のご講演の中では、既存の治療と比較してテッペーザでは整容面での改善効果も期待できるとのお話もありました。

講演に続いて行われた参加者によるディスカッションでは、私が座長を務めました。会議では、甲状腺眼症に携わる医師がごく少数しかいないため、内科もしくは眼科の先生が孤軍奮闘されている地域もあり、眼症に携わる医師による知識の共有の大切さを実感しました。また、甲状腺眼症でお困りの患者様の訴えを適切に拾い上げるための診療におけるコツなども議論しました。

今回の会議を通して、甲状腺眼症に苦しむ患者様の福音となるように、患者様が適切な治療が受けられる環境への橋渡し役としての甲状腺疾患専門医の立場を再認識するとともに、今後も研鑽を積む必要性を実感しました。



さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10
ITOメディカルビル札幌5F
電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439
HP：https://www.kojin-kai.jp/sapporo/



このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 院長 佐藤伸也

30年後の世界

やました甲状腺病院の佐藤伸也です。

医師の世界には「学会」というものがあり、地方、国、世界と様々な規模で年1回程度開催されています。学術発表、研修、ガイドラインの作成など、いろいろな目的がありますが、外科や産婦人科などの専門医になろうとすれば、必ずその基盤学会に入会することとなります。医師になって1年ほどすると、上司の指導の下に珍しい症例の報告などを学会ではじめて行う「学会デビュー」というイベントが研修医にはあります。私は当時、大学病院の耳鼻科に所属していたので、人工内耳に関する発表で「学会デビュー」しました。

人工内耳は耳が全く聞こえなくなった聾(ろう)患者の内耳に細い電極を入れて、外部からの音(空気圧の変化)を電気信号に変換し、その電気信号で内耳神経を直接刺激し、脳に音として感知させる電子機器および医療を指します。私が医師になった1997年には限られた大学病院でしかその手術およびリハビリは行われておらず、私が在籍した大阪大学医学部附属病院でも年間20～30例程度と少なく、世の聾患者の需要を満たすには程遠い状況でした。また、出生時より耳が聞こえない先天聾(せんてんろう)患者への導入はまだ始まったばかりで、先天聾患者の家族会、聾学校の先生からは人工内耳の手術を受けることに否定的な意見もあったように記憶しています。研修医として実際に手術に立ち会っていましたが、小児の頭蓋骨を操作することや(人工内耳は骨を少し削って皮膚の下に埋没させる)、安全性はまだしも聴覚発達に有用であるとのデータがまだ少なかった頃なので、そのような反応になったのも致し方ないと思います。少なくとも患者が殺到という感じではなかったように記憶しています。その後、私は大学病院を離れ、また耳鼻科から外科に転科したこともあり人工内耳からすっかり縁遠くなり、その後の状況を知らぬまま30年近くが経過しました。

今回、たまたま人工内耳装用者でバセドウ病の方が手術患者として当院に紹介されてきました。話を聞くと先天聾で幼年期に人工内耳の手術を受けたとのこと。読唇術や手話なしでも健

聴者とほぼ同等の会話ができていること自体は想定範囲でしたが、健聴者のパートナーと一緒に来院して普通に会話している、世間では当たり前前の光景に私はいたく感銘を受けました。30年ほど前、私が見ていた世界では、難聴者は健聴者とのコミュニケーションに悪戦苦闘し、難聴者同士が集まって手話で会話する閉じた社会、さながらガラスの壁に囲まれた世界に生きていたのですから。人工内耳によってガラスの壁が取り払われ、難聴者の生きる世界が大きく広がったのは喜ばしい限りです。

医療の世界では効果があると思って始めた治療法が、効果がない、もしくは逆に害をなす結果となっていたことが後々判明することがしばしばあります。そのため、現代においては新たな治療法は臨床試験という形で少しずつ結果を見ながら導入していくこととなります。医師としては30年後に良い結果となる治療に関わりたいものですが、甲状腺疾患という非常に経過の長い疾患に関わる者としてはなおさらです。

★日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページ

人工内耳解説

人工内耳について

https://www.jibika.or.jp/modules/hearingloss/index.php?content_id=3



★日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

公式YouTubeチャンネル

ドキュメント人工内耳 REBIRTH LIFE 人工内耳の記憶

<https://www.youtube.com/watch?v=tFqgwzGalcY>



医療法人福甲会

やました甲状腺病院

〒812-0034

福岡県福岡市博多区下呉服町1-8

<https://www.kojosen.com/>

TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

風雅な名前を持つ蝶(スミナガシ)

甲状腺は蝶が翅をひろげた形をしているので、そのシンボルマークにはしばしば蝶が使われます。このコラムでは病理医(病理学者)の虫林花山先生が、国内外で出会った蝶たちについて紹介しています。今回は粋な名前を持つタテハチョウのお話します。

蝶の名前(和名)はどこか物質的で味気ないものが多い。しかし、この蝶にはスミナガシ(墨流し)というなんとも風雅な名前が付けられています。それは濃紺を帯びた黒色の地に白色の斑紋を散りばめた模様が、日本の伝統的な墨流し技法(水面に墨や絵の具などの色料を流し、その模様を和紙や絹布に写しとる)を連想させたのでしょう。ちなみに英名はAsian constable (アジアの警察官)ですが、この蝶のどこが警察官なのでしょうか？

日本では北海道をのぞいて青森県以南に広く分布していますが、どこでも個体数は少なく、出会った時には胸が高鳴ってしまいます。敏感で飛び方も速く、山道で出会ってもあっという間に飛び去ってしまいますが、樹液などで吸汁している時にはゆっくりと翅表の墨流し模様を観察できます。



病院からの**おしらせ**

クレジットカードがご利用可能になりました

8月12日(火)より、診療費のお支払いにクレジットカード決済がご利用できるようになっております。自動精算機のほか、会計窓口でのお支払い時でもご利用いただけます。

下記各社のクレジットカード決済が可能です。



※1回払いのみのお取り扱いとなります。現金との併用はできません。

なお、キャッシュカード(J-デビット)はご利用できなくなりました。申し訳ございませんが、ご了承ください。

自動精算機が新しくなりました

1階フロアに設置している自動精算機の入替を行いました。8月12日(火)より新しい機器が稼働しております。操作方法は、これまでと大きな変更はありません。ご不明な点がございましたら、病院スタッフまでお気軽にお声掛けください。

新しい精算機では、クレジットカード決済に対応したほか、領収書等のサイズや外来お薬引換券を変更しています。領収書等のサイズは、「少し大きいのではないか？」とのご意見もいただいておりますので、A4版からA5版へ変更しました。また、お薬引換券は、これまで領収書からの切り離しをお願いしておりましたが、領収書と別紙で印刷されます。どうぞお取り忘れのないよう、ご注意ください。



学会活動

第12回 日本甲状腺病理学会総会・学術集会(神奈川・5/24)

正木千恵 「STAT3は甲状腺乳頭癌の無再発生存に関与する」

第126回 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会(神奈川・5/27～30)

友田智哲 「甲状腺髄様癌に対する分子標的薬の使用経験」

鈴木章史 ランチョンセミナー 経験から学ぶBRAF変異陽性甲状腺癌治療～明日からの診療に向けて～「BRAF陽性進行甲状腺癌の治療戦略～Dabrafenib/Trametinibの役割～」

日本超音波医学会第98回学術集会(京都・5/30～6/1)

赤石純子 「好酸球増多を伴う硬化性粘表皮癌の超音波像の特徴」

齋藤慶幸 「甲状腺癌手術におけるL51Kプローブの使用経験とその有用性」

松本雅子 「IgG4甲状腺炎のエコー像」

第66回 多摩核医学技術検討会(東京・6/13)

渡邊奈津子 「パセドウ病への放射性ヨウ素内用療法」

第49回 日本頭頸部癌学会総会・学術講演会(北海道・6/13～14)

正木千恵 ランチョンセミナー 3 甲状腺癌薬物治療「遺伝子検査で変わる甲状腺癌治療～適切な薬剤選択とシークエンシャル治療のために～」

戸田宗治 ランチョンセミナー 2 頭頸部癌の検査・治療戦略「甲状腺癌におけるがんゲノム医療～希少フラクションの検出～」

第66回 日本臨床細胞学会総会(春期大会)(東京・6/27～29)

川井田みほ 教育講演10「副甲状腺腫瘍の病理・細胞診」

天野高志 基礎講座シリーズ1 甲状腺「甲状腺細胞診の見方」

天野高志 ワークショップ12 これがわたしの標本作製(甲状腺)「これがわたしの甲状腺の標本作製」

西村亜美 シンポジウム11 甲状腺細胞診を読み解く「細胞所見から読み解く乳頭癌亜型」

川井田みほ 座長「一般演題(示説)・甲状腺3)」

第13回 西東京臨床甲状腺研究会学術講演会(東京・7/5)

吉原 愛 特別講演「日常診療で遭遇する甲状腺疾患の治療のヒント」

第470回 国際治療談話会 例会(東京・7/17)

北川 亘 「甲状腺腫瘍の診断～超音波検査と穿刺吸引細胞診を中心に～」

川井田みほ 「甲状腺細胞 規約と伊藤病院の報告様式」

伊藤公一 司会「甲状腺腫瘍の診断～最新のトピックスを踏まえて～」

第67回 日本婦人科腫瘍学会学術講演会(東京・7/17～19)

川井田みほ 特別企画：婦人科腫瘍、病理、放射線の連携「子宮内膜癌の妊孕性温存療法における病理診断のポイント」

川井田みほ コメンテーター「病理症例検討会2：卵巣」

講演活動

Meet the Experts -BRAF陽性甲状腺癌治療のパラダイムシフト-(東京・5/27)

正木千恵 ディスカッション「分化型甲状腺癌治療におけるClinical Questionとは？～実症例を通じて考える～症例3」

パセドウ病アイソトープ治療Web講演会(WEB・7/10)

渡邊奈津子 「いまさら聞けない！パセドウ病のアイソトープ治療」

ピラフトビ・メクトピ甲状腺癌WEBライブセミナー(WEB・7/15)

杉野公則 「進行再発甲状腺癌に対する個別化治療の考え方」

杉野公則 座長「BRAF陽性甲状腺癌の治療と管理～効能追加から1周年を迎えて～」

甲状腺眼症疾患啓発セミナー Medii共催(WEB・7/17)

渡邊奈津子 症例で学ぶ甲状腺眼症の正しい向き合い方「内科的視点 内科医が甲状腺眼症を疑うポイント」

Roche Women's Health ウェブセミナー 2025 (WEB・7/26)

吉原 愛 「妊娠と甲状腺疾患のマネジメント 産科・内分泌の連携による最適ケア」

表紙no写真

代々木公園 BE STAGE

今号の表紙は、代々木公園を拡張して今年3月にオープンした「代々木公園 BE STAGE」。スケートボードを楽しめるアーバンスポーツパークのほか、施設内にはレストランやランニングステーションがあります。カフェでドリンクやアイスクリームをテイクアウトして公園で日向ぼっこするのもおすすめです。



(西澤)



Instagramはじめました！

伊藤病院公式Instagramを開設しました。病院の活動や患者様へのお知らせなどを発信してまいります！



編集後記

Voice秋号をお手に取っていただきありがとうございます。暑い中にも少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。Voice 秋号、楽しんでいただきましたでしょうか。

私が広報誌委員になって初めての号となり思い入れが深いものとなりました。毎日、表参道に通っておりますが、日々新しい発見があり、青山・表参道のめざましい変化を実感しております。これからも病院近辺の情報や病気の記事など、Voiceを通じて皆様に役立つ情報をお届けできれば幸いです。(西風)

甲状腺疾患書籍のご案内

当院近くの「山陽堂書店」でも販売しております。ぜひご活用ください。



「患者のための最新医学シリーズ
バセドウ病・橋本病 其他
の甲状腺の病気 改訂版」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：高橋書店



新版「甲状腺の
病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：講談社



新刊

「やさしいカラー図解
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,870円(税込)
発行：法研



「図解 甲状腺の病気が
よくわかる
最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,540円(税込)
発行：日東書院



安全！便利！おいしい！
甲状腺専門・伊藤病院がおくる
ヨウ素制限食レシピ

監修：伊藤公一
編集：北川巨
定価：1,760円(税込)
発行：全日本病院出版会



「よくわかる最新医学
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,540円(税込)
発行：主婦の友社

発行 2025年9月1日発行 第91号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <https://www.ito-hospital.jp>

